

うた、ギター、舞踊
世界トップ・スターのスペシャルステージ

フラメンコの すべて

新しいフラメンコの創出

ノーベル文学賞受賞者パブロ・ネルーダの詩
「20の愛の詩と1つの絶望の歌」より

“黙っている君が好きだ”

SHOJI KOJIMA

KOJIMAの壮嚴な祈りの舞…

CHICUELO

チクエロのギター

EL
LONDRO

エル・ロンドロのうた

撮影：荒井賢治

2012 11.1 (木) 林源十郎商店

倉敷市阿知2丁目23-10 <http://www.genjuro.jp/>

17:00～・19:30～
—ワンドリンク付 3,500円—

アフターパーティー
—フリードリンク 3,500円—

※前売券のみ

主催●エストゥディオ・コジマ IN KURASHIKI お問い合わせ●林源十郎商店/086-423-6010 ●倉敷シティバレエ/090-9738-2473

レクイエムII

2011年11月30日。東日本大震災復興支援チャリティー・ガラとして行われた「レクイエム」。フラメンコ舞踊家、小島章司がその舞踊団員たち、スペインからのアーティストたちとともに、副題に「死者たちへの追悼と生者たちへの希望を祈る」とあったように、踊りで祈りを捧げたのである。アーティストたちの追悼と、残った人々の哀しみに寄り添う心が観客に伝わって来る、重厚で格調高い舞台だった。

そして2012年10月。前回の公演にも出演したギタリスト、チクエロと歌手エル・ロンドロを迎え、小島章司が再び祈りを捧げる。バルセロナを代表するギタリストで、2枚のソロアルバムをリリースしている実力派、繊細で詩的かつダイナミックな演奏で日本でもおなじみのチクエロ。フラメンコの故郷、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ出身で、数々の一流アーティストとの共演で研鑽を積んだ、フラメンコの深い心を見事に表現する歌手、エル・ロンドロ。スペインから招いたこの二人のアーティストとともに、2年連続で本場スペインの重要なフラメンコ祭に招聘された小島章司が踊り、祈る。人間の深い感情を表現しうる、フラメンコというかたちを借りて、亡くなった人たちの冥福と東日本の復興を祈る。その祈りは、彼らだけでなく、フラメンコに携わる人々の思いもせて、空の高みに届くことだろう。

志風 恭子(フラメンコ・ジャーナリスト)

キャスト



撮影：荒井賢治

BAILE バイル

SHOJI KOJIMA

小島 章司

2008年4月『鳥の歌』『FEDERICO』『戦下の詩人たち』の＜愛と平和三部作＞で第39回舞踊批評家協会賞を受賞。2009年4月スペイン国王より文民功労勲章エンコムエンダ章を受賞。同年6月、高野山真言宗総本山金剛峯寺壇上伽藍「金堂」でフラメンコ奉納公演「聖なるいのち～空海に捧ぐ～」を行う。11月、文化功労者に選ばれる。

2011年2月、第15回ヘレス・フェスティバルで「ラ・セレスティーナ～三人のパブロ～」を上演。世界を代表するスペイン舞踊とフラメンコのフェスティバルに招聘され、メイン会場フラメンコの殿堂ビジャマルタ劇場に出演し、観客・批評家共に絶賛される。11月東日本大震災復興支援チャリティー・ガラ公演「レクイエム」上演。12月「ラ・セレスティーナ」の東京凱旋公演を行う。



CANTE カンテ

EL LONDRO

エル・ロンドロ

1976年、ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ生まれ。本名ミゲル・アンヘル・ソト。

子供の頃から歌手としての活動を始め、17歳でマドリッドへ。カルメン・コルテス舞踏団でロルカの「イェルマ」(演出ソリア・エスベル)などに出演。さらにホキアン・グロ、ハビエル・パロン、ドミンゴ・オルテガなどの数々の一流パイラオールとの共演を果たす。

2002年、ビエナル・デ・フラメンコにアンドレス・マリン「時を超えて」で参加。03年、チャノロバート、ファン・アビチュエラらが参加した第43回カンテ・デ・ラス・ミーナス国際フェスティバルにミゲル・ポベータとともに出演、カーテンコールでエンカルニータ・アニージョとブレリーアスを熱唱し大好評を博す。近年の小島章司の公演に欠かせないカンタオール。



GUIARRA ギター

CHICUELO

チクエロ

1968年バルセロナ生まれ。現代スペイン、フラメンコ界を代表するギタリスト、作曲家の一人。

19歳の時バルセロナのタブラオ「カルメン」の専属ギタリストとしてプロデビューし、ジェルバブエナ、ペレン・マジャなど当代一流のアーティストたちと共演。またエンリケ・モレンテ、ミゲル・ポベータ、ドゥケンデ、マイテ・マルティンら名だたる歌手たちの伴奏を務める。現在もミゲル・ポベータ、ドゥケンデの伴奏を中心にソロでも活躍。

ヒネサ・オルテガのCD「シエント」、【オスクリア】、ミゲル・ポベータの【スエナ・フラメンコ】、【サグアン】、ドゥケンデ【ミフォルマ・デ・ビビール】では音楽ディレクターを務め、ソロアルバムに【コンプリセス】、【ディアパシオン】がある。

2003年からソモロストロ・フラメンコ舞踏団、2004年ミュージカル「ロス・タラントス」や、フラメンコの歴史に残る名歌手カマロンへのオマージュ「レジェンダ・デル・ティエンポ。カマロン。30年後」でも音楽監督として活躍。また、ミゲル・ポベータ、ドゥケンデらとパキスタンの宗教音楽との共演作品「カワリール・ホンド」などにも参加した。

小島章司フラメンコ舞踊団では93年から音楽監督を務めている。その繊細でダイナミックな音楽の力で舞台に貢献している。

うた、ギター、舞踊

世界トップ・スターのスペシャルステージ

すべて